

作成日: 2007年3月1日

改訂日 (V. 10) 2017年4月6日

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: トライアンフ水和剤

会社名: 日本農薬株式会社  
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル  
 担当部門: 環境安全部  
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451  
 e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号: (平日) 03-6361-1426 (環境安全部)  
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (A L S O K)

推奨用途及び使用上の制限: 農薬(殺菌剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可

SDS番号: 520-43 (M07-17)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	区分5
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2 A
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1
	生殖毒性	区分1 B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1 (呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 (呼吸器系、腎臓)
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
 飲み込むと有害のおそれ  
 吸入すると有害のおそれ  
 強い眼刺激  
 発がんのおそれ  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 臓器(呼吸器系)の障害  
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害  
 水生生物に毒性  
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

## 注意書き

## 【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 粉じんを吸入しないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断を受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断を受けること。
- 漏出物を回収すること。

## 【保管】

- 施錠して保管すること

## 【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：特になし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

- 1)  $\alpha, \alpha, \alpha$ , トリフルオロ - 3' - イソプロポキシ - o - トルアニリド  
(一般名 フルトラニル)
- 2) 1 - [2 - (2, 4 - ジクロロフェニル) - 4 - プロピル - 1, 3 - ジオキソラン - 2 - イソメチル] - 1H - 1, 2, 4 - トリアゾール (一般名 プロピコナゾール)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
フルトラニル	40.0%	66332-96-5	4-(7)-1442	(3)-3925
プロピコナゾール	8.0%	60207-90-1	8-(3)-731	—
安衛法表示・通知対象物、化管法第一種指定化学物質 化管法第一種指定化学物質				
〈その他〉				
シリカ(非晶質、結晶質)	35.4%	112926-00-8	既存物質	(1)-548
7631-86-9、14808-60-7				
安衛法表示・通知対象物				
ヘキシレングリコール	4.5%	107-41-5	(2)-240	(2)-240
安衛法表示・通知対象物				
メタノール	≤0.8%	67-56-1	(2)-201	(2)-201
安衛法表示・通知対象物				
鉍物質微粉等	残	—	—	—

#### 4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石けんでよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：コップ1~2杯の水を与え、安静にして医師の診断を受ける。意識の無い時には、口からなにも与えてはならない。

#### 5. 火災時の措置

消火方法：適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用して風上より行う。燃焼または高温等により有毒な気体(硫黄酸化物、フッ化水素等)を生成するので、ガス、煙、ミスト等を吸い込まないように注意する。消火水等が水系に流れ込まない様に適切な措置を取る。

消火剤：粉末、泡沫、炭酸ガス、霧状水、水  
使ってはならない消火剤：情報無し。

#### 6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、粉じんやガスを吸い込んだりしないようにする。漏出物を密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：局所排気装置等適切な換気装置の下で取り扱う。適切な保護具を着用し、粉じんを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管：容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人用保護具：状況に応じた適切な保護具を着用する。保護マスク、保護眼鏡、保護衣(不浸透性)、ゴム手袋  
作業時に着用していた衣類等は、他のものと分けて洗濯する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

外観：類白色水和性粉末  
臭い：データ無し。  
比重：0.16(見かけ)  
pH：5.0~8.0/20°C(1%水懸濁液)  
引火点：データ無し。  
自然発火性：常温で空気と接触しても自然発火しない。

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の取扱条件では安定。

危険な反応： 知られていない。

危険有害な分解生成物： 燃焼すると有害なガス (HCl、HF、CO、NO<sub>x</sub> 等) が発生する可能性がある。

自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

## 11. 有害性情報

急性経口毒性： LD<sub>50</sub> 値 (mg/kg) 推定値 ATE<sub>mix</sub>=3340 (毒性未知成分量 9~11%)  
(ラット♀>2,000 のデータがあるが、中毒症状があったため分類が確定できず、推定値を算出した。)

急性経皮毒性： ラット LD<sub>50</sub> 値 (mg/kg) ♂, ♀ >2,000 (死亡例および中毒症状無し。)

急性吸入毒性： LC<sub>50</sub> 値 (mg/L) 推定値 ATE<sub>mix</sub>=10.4 (毒性未知成分量 51%)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：

ウサギ 刺激性無し。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：

ウサギ 中等度の刺激性あり (8 日後に回復)。

皮膚感作性： モルモット 陰性

発がん性： 区分 1 A に分類される結晶質シリカを区分 1 の濃度限界の 0.1% 以上含有することから区分 1 とした。

生殖毒性： 区分 1 B に分類されるメタノールを区分 1 の濃度限界の 0.1% 以上含有する場合があることから区分 1 B とした。毒性未知成分量は 45~46%。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分 1 (呼吸器系) に分類される結晶質シリカを、区分 1 の濃度限界の 1.0% 以上含有することから区分 1 (呼吸器系) とした。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)： 区分 1 (呼吸器系、腎臓) に分類される結晶質シリカを、区分 1 の濃度限界の 1.0% 以上含有することから区分 1 (呼吸器系、腎臓) とした。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)：

オオミジンコ、緑藻の毒性データにより区分 2 とした。

水生環境有害性 (長期間)：

急性区分 2 で、急速分解性と生物蓄積性に関するデータがないことから区分 2 とした。

生態毒性：

コイ LC<sub>50</sub> 値/96hr 11.7 mg/L

オオミジンコ EC<sub>50</sub> 値/48hr 2.3 mg/L

緑藻\*： EbC<sub>50</sub> (0h-72h) 1.1 mg/L

ErC<sub>50</sub> 値/24-48hr 4.5 mg/L

ErC<sub>50</sub> 値/24-72hr 3.8 mg/L

(\**Pseudokirchneriella subcapitata*)

残留性・分解性： 製剤のデータなし。

生体蓄積性： 製剤のデータなし。

土壌中への移動性： 製剤のデータなし。

オゾン層への有害性： 製剤のデータなし。

## 13. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

#### 14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号： 3077  
品名（国連輸送名）： ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.  
(contains flutolanil)  
国連分類： 9  
容器等級： III  
海洋汚染物質： 該当  
緊急時応急措置指針番号： 171

#### 15. 適用法令

農薬取締法

毒物及び劇物取締法： 毒物及び劇物に該当せず（劇物のメタノールを含むが混合物であり該当しない）。

労働安全衛生法

表示対象物（法 57 条、施行令第 18 条）：フルトラニル（政令番号 47）、シリカ（政令番号 312）、ヘキシレングリコール（政令番号 593、2 - メチル - 2, 4 - ペンタンジオール）、メタノール（政令番号 560）

通知対象物（法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2）：フルトラニル（政令番号 47）、シリカ（政令番号 312）、ヘキシレングリコール（政令番号 593、2 - メチル - 2, 4 - ペンタンジオール）、メタノール（政令番号 560）

化学物質排出把握管理促進法（化管法）

指定化学物質：フルトラニル（第一種・政令番号 41）、プロピコナゾール（第一種・政令番号 171）

#### 16. その他の情報

参考文献

- 1) JIS Z 7253 : 2012、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。